

特定非営利活動法人日本火山学会 2021 年度秋季大会プログラム

期 間：2021 年 10 月 20 日（水）～ 10 月 22 日（金）（学術講演会）

会 場：オンライン開催

責任者：2021 年度秋季大会実行委員会 中村美千彦委員長

【口頭発表スケジュール】

		A 会場	B 会場
10 月 20 日 （水）	午前 （9:00 ～ 10:30）	火山の地震・マグマの蓄積・移動	火山の地質学
	午前 （10:50 ～ 11:50）	ポスターセッション・フラッシュ トーク（学生発表賞審査対象者）	
	午後 （14:00 ～ 15:30）	ポスターセッション・コアタイム（P1-01～P1-38）14:00 ～ 15:30	
	午後 （15:50 ～ 17:20）	地殻変動	火山の地質学
10 月 21 日 （木）	午前 （9:00 ～ 10:30）	モニタリング	火山化学
	午前 （10:50 ～ 12:20）	モニタリング	噴出物の堆積と運搬
	午後 （14:00 ～ 15:30）	ポスターセッション・コアタイム（P2-01～P2-43）14:00 ～ 15:30	
	午後 （15:30 ～ 16:30）	臨時総会（A 会場）	
	午後 （16:30 ～ 17:30）	受賞記念講演（A 会場）	
10 月 22 日 （金）	午前 （9:00 ～ 10:30）	噴火のダイナミクス	火山災害
	午前 （10:50 ～ 12:35）	噴火のダイナミクス	火山の岩石学
	午後 （14:00 ～ 15:45）	火山の地下構造	火山の岩石学

※一人あたりの講演時間は 15 分ですが、3 分は質疑応答時間として残すようにしてください。

【ポスター発表スケジュール】

- ・コアタイム：10 月 20 日（水）14:00-15:30（P1-01～P1-38）
10 月 21 日（木）14:00-15:30（P2-01～P2-43）

- 11:06-11:10
P1-10 十勝岳における微小傾斜変動イベントの概要と有限要素法を用いた予備的検討
※◎近内雪乃・青山 裕
- 11:10-11:14
P1-17 草津白根火山, 白根火砕丘群の形成史
※◎沼田和佳子・石崎泰男
- 11:14-11:18
P1-25 岩石学的にみた富士火山大室噴火のマグマ供給系
※◎遠藤公喜・石崎泰男・吉本充宏
- 11:18-11:22
P1-27 伊豆半島東方沖 2006 年群発地震活動の震源過程の特徴
※◎田中夕香子・山田卓司
- 11:22-11:26
P2-17 神鍋山の地形地質学的特徴および噴火史
※◎一井瑛介・辻 智大
- 11:26-11:30
P2-19 雲仙火山有史時代噴火の噴火準備過程：クリスタルクロットからの制約
※◎岩橋くるみ・安田 敦
- 11:30-11:34
P2-23 メルト包有物分析に基づく Aso-2、Aso-3、Aso-4 噴火のマグマ形成過程
※◎菊池瞭平・金子克哉
- 11:34-11:38
P2-26 大崩山バソリスの電気比抵抗構造の特徴について
※◎大久保歩夢・相澤広記・松島 健
Agnis Triahadini・山本有人・田辺暖枝・宇津木充
山崎健一・吉村令慧・小松信太郎・荒上夏奈
波岸彩子・手繰佳子・塚本果織・村松 弾
林田祐人・武石貢佑・緒方美季・渡部陽奈
藤森佳奈・原田直人
- 11:38-11:42
P2-27 霧島・御鉢火山 1235 年スコリアの石基組織から探る苦鉄質準プリニー式噴火の火道浅部プロセス
※◎岩城吉春・石橋秀巳・外西奈津美
安田 敦・石川 徹・嶋野岳人
- 11:42-11:46
P2-37 石基輝石の晶相に基づく桜島大正噴火のマグマ火道上昇履歴の制約
※◎奥村翔太・奥村 聡
三宅 亮
- 11:46-11:50
P2-38 桜島の爆発的な噴火に伴い発生する地震の震源決定
※◎三浦健司・西村太志

10月20日(水) 午後

A 会場 地殻変動	B 会場 火山の地質学
座長：道家涼介・青木陽介	座長：長谷川健・下司信夫
15:50-16:05	15:50-16:05
A1-07 粒子法時間依存逆解析による火山性地殻変動力源の逐次推定 ※宗包浩志	B1-05 北海道洞爺カルデラ地域における先カルデラ期の火砕流堆積物の発見：立香火砕流堆積物 ※後藤芳彦・孫 入匠・檀原 徹・東宮昭彦
16:05-16:20	16:05-16:20
A1-08 箱根火山 2015 年水蒸気噴火後の収縮過程 ※道家涼介・萬年一剛・板寺一洋	B1-06 濁川火山における後カルデラ活動の再評価 ※◎金田泰明・長谷川 健
16:20-16:35	16:20-16:35
A1-09 測地データに見る有珠山の噴火時収縮と噴火間膨張の反復 ※村上 亮	B1-07 阿蘇カルデラ東部根子岳に分布する火山岩類の K-Ar 年代 ※新村太郎・三好雅也・角野浩史
16:35-16:50	16:35-16:50
A1-10 粘弾性を考慮した有珠山マグマ溜り・特徴パラメータの制約 ※中島悠貴・村上 亮	上田恭裕・森 康・長谷中利昭 荒川洋二・長尾敬介
16:50-17:05	16:50-17:05
A1-11 PALSAR-2 と Sentinel-1 による吾妻山における間欠的隆起の検出 ※姫松裕志・小澤 拓	B1-08 ニュージーランド、タウポ噴火の古地磁気年代測定 ※長谷川 健・Annika Greve・Darren Gravley
17:05-17:20	17:05-17:20
A1-12 阿蘇火山のマグマだまりに対する 2016 年熊本地震の断層変位による影響 ※菅原嵩史・大倉敬宏 成田翔平	楠 稚枝・岡田 誠・Szabolcs Kósik 望月伸竜・金田泰明 16:50-17:05 B1-09 三宅島火山, 4.0~2.5 ka 噴出物の層序と岩石学的特徴：静穏期から活動期へのマグマ供給系の進化プロセス ※◎渡部将太・長谷川 健 及川輝樹・下司信夫

10月21日(木) 午前

A 会場 モニタリング	B 会場 火山化学
座長：堀田耕平・青木陽介	座長：谷口無我・山崎誠子
9:00-9:15	9:00-9:15
A2-01 2021 年 8 月 13 日福徳岡ノ場の噴火により励起されたインフラサウンド ※乙津孝之・岩國真紀子 本橋昌志・新井伸夫	B2-01 湖水の化学組成からみた草津白根山湯釜火口直下のマグマ-熱水活動 ※谷口無我・大場 武 寺田曉彦
9:15-9:30	9:15-9:30
A2-02 福徳岡ノ場 2021 年噴火により噴出・拡散した軽石ラフト ※◎池上郁彦	B2-02 草津白根火山・湯釜火口湖へ供給される熱水の化学的特徴-湖水濃度時系列解析- ※◎鈴木レオナ・寺田曉彦・谷口無我・大場 武
9:30-9:45	9:30-9:45
A2-03 ウェーブライダーを用いた海上からの画像常時伝送 ※田中 聡・杉岡裕子 浜野洋三・市原美恵	9:30-9:45 B2-03 草津白根火山・湯釜火口周辺における土壌ガス中のヘリウム同位体比分布-潜在破砕帯検出の試み- ※◎若松 海・寺田曉彦・角野浩史 小長谷智哉・谷口無我・大場 武
9:45-10:00	
A2-04 インフラサウンド観測による諏訪之瀬島火山活動評価 ※井口正人・山田大志	

10:00-10:15	
A2-05	水準測量から明らかになった立山火山地獄谷の再隆起— 2020 年 9 月～2021 年 9 月— ※堀田耕平・高橋秀徳・本田裕也・剣持拓未
10:15-10:30	
A2-06	Volcanic deformation at Domuyo and Laguna del Maule volcanoes, Southern Andes derived from InSAR time-series analysis ※◎ Micaela Colavita 三浦 哲・森下 遊
10:30-10:50 休憩	
座長：上田英樹・青山 裕	
10:50-11:05	
A2-07	伊豆大島におけるヘリウム同位体比の時空間変動 ※角野浩史・小長谷智哉・外山浩太郎 野津憲治・池端 慶・清水 綾
11:05-11:20	
A2-08	箱根火山でのリアルタイムヘリウムモニタリング計画 ※熊谷英憲・萬年一剛・清水家齊
11:20-11:35	
A2-09	箱根火山噴気の希ガス・炭素同位体組成の時間変動 ※小長谷智哉・角野浩史・外山浩太郎 大場 武・谷口無我
11:35-11:50	
A2-10	大気環境測定局の二酸化硫黄濃度による火山活動評価への活用 ※高木朗充・森 健彦・橋本明弘
11:50-12:05	
A2-11	阿蘇 2014 年マグマ噴火前後における地下比抵抗分布の推移 ※石橋 桜・宇津木 充 南 拓人・井上寛之
12:05-12:20	
A2-12	状態遷移図を用いた火山活動の推移予測研究 ※上田英樹・廣瀬 郁・松澤孝紀 三輪学央・長井雅史・河野裕希

9:45-10:00	
B2-04	噴煙中の水蒸気安定同位体比観測から探る阿蘇中岳から放出される水蒸気の起源 ※◎森下雄平 角皆 潤・伊藤昌雅・新宮原諒・中川書子 吉川 慎・宇津木 充・横尾 亮彦
10:00-10:15	
B2-05	阿蘇火山のかんらん石メルト包有物からみた脱ガス深度 ※川口允孝・長谷中利昭・Kenneth Koga Estelle Rose-Koga・安田 敦・外西奈津美 森 康・清水健二・牛久保孝行
10:15-10:30	
B2-06	箱根火山噴気化学組成の時間変化 ※大場 武 谷口無我・沼波 望・豊島誠也
10:30-10:50 休憩	
噴出物の堆積と運搬 座長：入山 宙・嶋野岳人	
10:50-11:05	
B2-07	始良カルデラ入戸火砕流堆積物分布図 ※宝田晋治・西原 歩・星住英夫 山崎 雅・金田泰明・下司信夫
11:05-11:20	
B2-08	2 次元定常噴煙流テフラ輸送理論を用いた供給源テフラ粒径分布時系列変化の推定と新燃岳 2018 年 4 月 5 日噴火への応用 ※入山 宙
11:20-11:35	
B2-09	富士火山 1707 年宝永噴火の降灰シミュレーションコード WT による再現 ※萬年一剛
11:35-11:50	
B2-10	非球形粒子の抵抗係数に関する理論の二次元ビデオディストロメーターによる降灰観測への応用について ※佐藤英一・瀧下恒星・井口正人
11:50-12:05	
B2-11	三次元火砕サージ流動モデルによる大気連行の再現計算 ※◎殿山俊吾・中村恭志
12:05-12:20	
B2-12	UAV による微地形測量 伊豆大島裏砂漠での風食量計測 ※千葉達朗・佐々木寿・森貴章・望月拓実

総会（A 会場） 15:30～16:30

A 会場	
受賞記念講演	
座長：高木朗充	
16:30-17:00	
S-01	ナノスケール火山岩岩石学の創出とその噴火ダイナミクスへの応用 ※無盡真弓

17:00-17:30

S-02 有珠山を舞台とした火山防災意識の継承と火山との共生を目指す長期的取り組み ※三松三朗

10月22日(金) 午前

A 会場
噴火のダイナミクス

座長：山田大志・鈴木雄治郎

9:00-9:15

A3-01 空気振動観測による放出火山灰量推定と噴煙到達高度の検討 ※山田大志・井口正人・為栗 健

9:15-9:30

A3-02 父島空振記録から推定する福德岡ノ場 2021 年 8 月噴火に伴う浅海爆発 ※市原美恵・西田 究
金子隆之

9:30-9:45

A3-03 間欠泉噴出過程の短周期振動－熱赤外映像および空振観測からの考察－ ※◎手嶋法子・西村太志

9:45-10:00

A3-04 桜島昭和火口のブルカノ式噴火に先行する火映変動現象の解析 ※◎村松 弾・相澤広記
横尾亮彦・為栗 健・井口正人

10:00-10:15

A3-05 霧島硫黄山における傾斜変動を伴う微動と電位差変動 ※相澤広記・村松 弾・松島 健
小山崇夫・上嶋 誠・中尾 茂

10:15-10:30

A3-06 比抵抗構造から示唆される阿蘇山の熱水系モデルについて ※南 拓人・Marceau Gresse
穴井千里・宇津木 充

10:30-10:50 休憩

座長：石井憲介・鈴木雄治郎

10:50-11:05

A3-07 マグマ結晶化における結晶数密度の冷却速度依存性について－統一的理解と指数関数的 C S D の関係－ ※寅丸敦志・吉瀬 毅

11:05-11:20

A3-08 浮力による気泡の変形と合体の理論的研究 ※◎丸石崇史・寅丸敦志

11:20-11:35

A3-09 山体崩壊時の山頂部持ち上がりとアバランシュバレー形成との関連性の検討－1888 年磐梯山の事例に基づいて－ ※佐藤俊一・須貝俊彦

B 会場
火山災害

座長：吉本充宏・嶋野岳人

9:00-9:15

B3-01 富士山チャレンジデータを活用した登山者動態データ分析－勾配と登山及び下山にかかる時間の検討－ ※久保智弘・吉本充宏

本多 亮・宮城洋介・田中義朗

9:15-9:30

B3-02 御嶽山 2014 年噴火後における登山者の火山防災意識調査 ※加藤 健・山田浩之・佐々木 寿
田ノ上和志・澤田義幸

9:30-9:45

B3-03 耐噴石シェルター補強のための人工軽石の圧縮変形特性評価 ※◎木村 陸・山田浩之
小笠原永久・立山耕平・佐々木 寿

9:45-10:00

B3-04 投出岩塊衝突に対する被覆人工軽石の衝撃吸収効果に関する検討 ※吉本充宏・久保智弘
本多 亮・西澤達治
立山耕平・木村 陸・山田浩之

10:00-10:15

B3-05 模擬火山礫衝突に対するヘルメットの有用性 ※山田浩之・鶴飼悠帆・小笠原永久・樋口理宏
立山耕平・佐々木 寿・保科祐一郎・和田野加恵

10:15-10:30

B3-06 ドローンプロペラへの火山灰衝突の影響 ※◎樽石郁弥・木村茂雄・阿部裕幸
若林邦彦・佐藤研吾

10:30-10:50 休憩

火山の岩石学

座長：浜田盛久・奥村 聡

10:50-11:05

B3-07 十和田火山におけるマグマ活動史：その 3 カルデラ形成期におけるマグマ溜まりの発達

※佐藤勇輝・広井良美・宮本 毅

11:05-11:20

B3-08 十和田火山におけるマグマ活動史：その 4 カルデラ形成噴火と先駆的小規模噴火 ※広井良美
佐藤勇輝・宮本 毅

11:35-11:50
A3-10 浅間山天明噴火における鎌原火砕流・岩屑なだれの発生機構 ※◎清藤大河・常松佳恵・青木陽介
11:50-12:05
A3-11 気象庁の火山灰予測業務で用いる一次元噴煙モデルの開発 ※石井憲介・西條 祥・小屋口剛博
12:05-12:20
A3-12 火砕物供給関数の推定に向けて：火砕物の到達高度 ※鈴木雄治郎
12:20-12:35
A3-13 流紋岩質メルトの減圧発泡による温度降下の見積り ※西脇瑞紀・福谷貴一・松本光央・寅丸敦志

11:20-11:35
B3-09 富士火山の珪長質マグマだまり：宝永噴火のマッシュ状斑レイ岩捕獲岩からの制約 ※◎大塚芽久
石橋秀巳・田中佑希子・外西奈津美・安田 敦
11:35-11:50
B3-10 鬼界カルデラ火山のマグマ変化ーちきゅう SCORE 試料より ※羽生 毅・常 青
金子克哉・鈴木桂子・中岡礼奈・清杉孝司
山本由弦・松野哲男・島 伸和・巽 好幸
11:50-12:05
B3-11 鬼界海底カルデラ火山の溶岩ドーム流紋岩質マグマの温度・圧力の推定 ※浜田盛久・羽生 毅
宮崎 隆・Maria Tejada・上木賢太
Bogdan Vaglarov・Iona McIntosh
常 青・鈴木桂子・金子克哉
清杉孝司・中岡礼奈
12:05-12:20
B3-12 白山火山の山頂部周辺に分布する本質火山岩塊の主成分元素および微量元素組成 ※酒寄淳史
海野 進・宮下太一郎・石塚 治・林信太郎

10 月 22 日 (金) 午後

A 会場 火山の地下構造

座長：畑 真紀・松島 健

14:00-14:15
A3-14 多方向ミュオグラフィによる伊豆大室山スコリア丘の3次元密度イメージング ※宮本成悟
長原翔伍・森島邦博
中野敏行・小山真人・鈴木雄介
14:15-14:30
A3-15 伊豆東部火山群大室山スコリア丘の構造と形成過程ー高解像度 DEM とミュオグラフィにもとづく再検討ー ※小山真人・鈴木雄介・宮本成悟
長原翔伍・森島邦博・中野敏行
14:30-14:45
A3-16 坑井データから見た粘土鉱物を含む岩石比抵抗の解釈 ※◎井上智裕・橋本武志
14:45-15:00
A3-17 MCMC 法を用いた樽前山の磁場変化源推定 ※◎渋谷桂一・橋本武志
15:00-15:15
A3-18 噴火に伴う熱水系の変化ーえびの高原硫黄山ー ※松島喜雄・関 香織・宇津木 充
山崎 雅・森田雅明

B 会場

座長：柵山徹也・奥村 聡

14:00-14:15
B3-13 西之島 2020 年噴火はなぜ爆発的だったのか ※田村芳彦・佐藤智紀・石塚 治・吉田健太
14:15-14:30
B3-14 マグマ混合によるマイクロライト結晶化抑制と爆発的噴火：浅間山天明噴火での証拠 ※◎多田峻真・無盡真弓・中村美千彦・安井真也
14:30-14:45
B3-15 マントル捕獲岩を用いたドイツ西部・アイフェル火山深部でのマグマ活動の時間スケール ※◎荒尾真成・中村美千彦・無盡真弓
新谷直己・中谷貴之・隅田まり
HANS-ULRICH SCHMINCKE
14:45-15:00
B3-16 中国東北部五大連池市周辺域の新生代アルカリ玄武岩から推定されるマントル揮発成分量 林 裕馬・※柵山徹也・清水健二
牛久保孝之・羽生 毅・常 青
木村純一・Tian Wei
15:00-15:15
B3-17 捕獲岩の粒間流体形状による上部マントル中の流体組成の推定 ※◎阿部俊輔・荒尾真成
大谷真理・新谷直己・中村美千彦
隅田まり・Hans-Ulrich Schmincke

15:15-15:30

A3-19 メッシュ状に配置した新旧 Network-MT ダイポールデータによる阿蘇カルデラ地下の3次元比抵抗分布(2)

※畑 真紀・上嶋 誠・宇津木 充・松島喜雄
田中良和・橋本武志・吉村令慧・大志万直人

15:15-15:30

B3-18 大規模噴火におけるマグマ含水量とストーピングの重要性

※宮城磯治

15:30-15:45

B3-19 結晶の累帯構造に対する火道内対流の効果

※◎高階悠貴・中村美千彦

ポスターセッション

ポスター発表・コアタイム (P1-01 ~ P1-38) 10月20日 14:00-15:30

ポスター発表・コアタイム (P2-01 ~ P2-43) 10月21日 14:00-15:30

P1-01 火道変形とマグマの物性変化を考慮した非爆発的噴火の推移

※◎西川空良・田中 良

P1-02 高粘性マグマの水平移動過程解明のための二次元アナログモデル実験

※◎吉田英臣

田中 良・青山 裕

P1-03 玄武岩質マグマをターゲットとした減圧結晶化実験の新技术

※◎松本一久・奥村 聡・中谷貴之

鈴木敏弘・東宮昭彦・宮下明典・石橋秀巳

P1-04 炭酸水とアナログ物質を用いたマグマ冷却結晶化発泡の実験ーアナログ物質と実験条件の探索ー

※◎藤村志穂・寅丸敦志

P1-05 高温封圧下におけるマグマの透気試験

※奥村 聡・並木敦子

P1-06 Collection and integration of crystal orientation and composition data for diffusion chronometry studies

※ Chris Conway・針金由美子

下司信夫・斎藤元治

P1-07 ケイ酸塩メルト中の水の溶解度：圧力項に関するパラドックス

※西脇瑞紀

P1-08 マグマ特性のデータベース研究の今後

※竹内晋吾・土志田潔

三浦大助・伊藤久敏・上澤真平

P1-09 マントル対流モデルから求まるリソスフェアの応力レジームと応力比

※吉田晶樹

P1-10 十勝岳における微小傾斜変動イベントの概要と有限要素法を用いた予備的検討

※◎近内雪乃・青山 裕

P1-11 2021年3月有珠山直下やや深部の地震増加イベント

※不破智志・宮村淳一・奥山 哲・青山 裕

P1-12 ボアホールカメラを用いたしかべ間歇泉の井戸内観測

※柘植鮎太・青山 裕

秋田藤夫・加藤和彦

P1-13 恵山火山地質図

※三浦大助

古川竜太・荒井健一

P1-14 噴火ポテンシャル評価に向けた AMT 法による蔵王山の比抵抗構造探査

※市来雅啓・海田俊輝

山本 希・三浦 哲・神田 径

潮田雅司・関 香織・森田裕一・上嶋 誠

P1-15 蔵王山火口湖・御釜の水中ドローン調査(速報)

※後藤章夫・山崎新太郎・知北和久

岡田 純・土屋範芳

P1-16 東北日本、吾妻火山、大穴ユニットの岩石学的特徴

※菅野 舜・伴 雅雄・佐藤初洋

P1-17 草津白根火山、白根火砕丘群の形成史

※◎沼田和佳子・石崎泰男

P1-18 単斜輝石リムを持つシンプレクタイトが示す草津

白根山の非平衡マグマ混合プロセス

※上木賢太

松丸真奈美・乾 睦子

P1-19 草津白根山で1989-1993年に発生した低周波地震

の発生過程

※田口貴美子・熊谷博之

P1-20 傾斜計過渡応答を用いた草津白根火山2018年噴

火の地盤変動解析

※山田大志・寺田暁彦

神田 径・上田英樹・青山 裕

大倉敬宏・小川康雄・棚田俊收

P1-21 箱根火山深部ハーモニック微動に対する数値モデ

リング

※行竹洋平・鶴川元雄

栗田 敬・小菅正裕・前田拓人

P1-22 御殿場山体崩壊がもたらした富士山深部マグマた

まりの観察窓

※安田 敦・田島靖久

P1-23 富士火山の噴火様式多様性をもたらす要素に関する

岩石学的検討

※猪狩一晟

P1-24 高精度 DEM を利用した富士山のスコリア丘の地形

解析

※石峯康浩

P1-25 岩石学的にみた富士火山大室噴火のマグマ供給系

※◎遠藤公喜・石崎泰男・吉本充宏

P1-26 富士火山北東麓のテフラ識別手法の検討(2)

※龜谷伸子・吉本充宏

P1-27 伊豆半島東方沖2006年群発地震活動の震源過程の

特徴

※◎田中夕香子・山田卓司

P1-28 伊豆大島のボアホール式ひずみ計による地殻変動

源のモニタリング

※小久保一哉

- P1-29 GNSS と SAR 解析による伊豆大島カルデラ地域の
地殻変動 ※島村哲也・安藤 忍・鬼澤真也
奥山 哲・入山 宙
- P1-30 三宅島すおう穴テフラに含まれる斜長石巨晶中の
メルト包有物 清野 樹・※石橋秀巳・下司信夫
針金由美子・外西奈津美・安田 敦
- P1-31 宮内庁宮内公文書館が保管する伊豆鳥島 1902 (明
治 35) 年噴火写真 ※伊藤順一
- P1-32 小笠原硫黄島火山で 2020 年 -2021 年に生じた噴
火イベント ※長井雅史・三輪学央・上田英樹
姫松裕志・廣瀬 郁・小林哲夫
- P1-33 2021 年 8 月 13 日に発生した福徳岡ノ場の噴火
気象庁火山監視・警報センター (※柳澤宏彰)
- P1-34 小笠原諸島, 福徳岡ノ場における 2021 年 8 月の
噴火 ※及川輝樹・柳澤宏彰・池上郁彦
石塚 治・水落裕樹・東宮昭彦・森田雅明
中野 俊・川口亮平・中村政道
- P1-35 衛星による福徳岡ノ場 2021 年 8 月噴火の SO_2 放
出率観測 ※森田雅明・森 俊哉・風早竜之介
- P1-36 福徳岡ノ場から 2021 年 8 月に噴火した軽石 (速報)
※田村芳彦・吉田健太・Iona McIntosh・常 青
佐藤智紀・羽生毅・小野重明
- P1-37 胎内溶岩樹型内壁の溶岩鐘乳・肋骨状溶岩の形成
温度の推定 ※本多 力
- P1-38 水蒸気爆発は休火山の最後の姿かー水蒸気爆発
(噴火)ー ※橋場 明
- P2-01 マグマ上昇に伴う地殻変動の時間変化のシミュ
レーション ※川口亮平
- P2-02 傾斜計データによる水蒸気噴火発生判断基準の
検討 ※鈴木健介・近江克也
田中裕隆・柴木美沙紀・碓井勇二
- P2-03 機械学習を用いた噴石着弾痕の自動抽出の検討
※佐々木 寿・小宮佑登・野中秀樹・千葉達朗
- P2-04 ハウスドルフ距離を用いた火山岩塊のインバー
ジョン解析手法 ※常松佳恵
- P2-05 空撮用手持ち型外カメラシステム (STIC-P) の
開発と火山試験観測 ※實淵哲也
- P2-06 熱赤外線カメラで撮影された JPEG ファイルの解析
方法 ※横尾亮彦・石井杏佳
- P2-07 気象予測モデルを併用した新しい二酸化硫黄放出
率推定手法の開発: その 3 ※橋本明弘
森 健彦・新堀敏基
- P2-08 火山灰移流拡散モデルの更新 ※新堀敏基
石井憲介・甲斐玲子
長谷川嘉臣・林 洋介・林 勇太
- P2-09 大規模噴火データベース・噴火推移データベース
と短期的・中長期的前駆活動の傾向 ※金田泰明
池上郁彦・宝田晋治・下司信夫
- P2-10 降灰リアルタイムハザードマップシステムの開発
※中谷 剛・浅野敏之
- P2-11 試作版周知啓発用コンテンツのアンケート調査に
ついて ※久保智弘・吉本充宏・宮城洋介
- P2-12 小・中学校の修学旅行におけるフィールド火山実
験の実践 ※横山 光
- P2-13 立山地獄谷における土壌ガス・浸透率測定
※神田 径・丹保俊哉
- P2-14 新期御嶽火山溶岩の $^{40}\text{Ar}/^{39}\text{Ar}$ 年代測定
※山崎誠子・及川輝樹
Daniel Miggins・Anthony Koppers
- P2-15 自己相関関数の誤差評価と御嶽山浅部構造への適用
※前田裕太・渡辺俊樹
- P2-16 紀伊半島中央部, 中期中新世大台カルデラ縁部の
中奥火砕岩脈群と武木弧状岩脈群の貫入関係
※和田稔隆・石坂 望・岩崎洋明
- P2-17 神鍋山の地形地質学的特徴および噴火史
※◎一井瑛介・辻 智大
- P2-18 室戸岬ハンレイ岩体末端部の岩石学的記載と石基
組織 ※和田侑也・寅丸敦志
- P2-19 雲仙火山有史時代噴火の噴火準備過程: クリスタ
ルクロットからの制約 ※◎岩橋くるみ
安田 敦
- P2-20 雲仙火山における比抵抗構造と地震波速度構造の
比較とマグマ上昇経路との関連性 ※相澤広記
Agnis Triahadini・宮野幹大
松島 健・清水 洋・志藤あずさ
- P2-21 faSavageHutterFOAM による雲仙 1991 年 6 月 3 日
火砕流の数値シミュレーション ※志水宏行
- P2-22 2016 年阿蘇火山爆発的噴火の準備および初期過程
※樋口和也・大倉敬宏・爲栗 健・横尾亮彦
- P2-23 メルト包有物分析に基づく Aso-2、Aso-3、Aso-4
噴火のマグマ形成過程 ※◎菊池瞭平・金子克哉
- P2-24 阿蘇後カルデラ期火山活動に見られる高 $^{87}\text{Sr}/^{86}\text{Sr}$
比火山岩について ※新村太郎
荒川洋二・森 康
- P2-25 阿蘇中岳第一火口の放熱率推定 (2020-2021 年)
※成田翔平・大倉敬宏
吉川 慎・横尾亮彦・井上寛之
- P2-26 大崩山パソリスの電気比抵抗構造の特徴について
※◎大久保歩夢・相澤広記・松島 健
Agnis Triahadini・山本有人・田辺暖終・宇津木 充
山崎健一・吉村令慧・小松信太郎・荒上夏奈
波岸彩子・手繰佳子・塚本果織・村松 弾
林田祐人・武石真佑・緒方美季・渡部陽奈
藤森佳奈・原田直人
- P2-27 霧島・御鉢火山 1235 年スコリアの石基組織から
探る苦鉄質準ブリニー式噴火の火道浅部プロセス
※◎岩城吉春・石橋秀巳・外西奈津美
安田 敦・石川 徹・嶋野岳人
- P2-28 マグマ破砕条件に基づく火道内マグマ物性への制
約ー 2011 年霧島山新燃岳噴火への適用ー
※小園誠史・奥村 聡
- P2-29 降下火砕堆積物分布の継時変化: 新燃岳 2011 年
噴火の例 ※清杉孝司

- | | |
|--|---|
| <p>P2-30 地殻変動連続記録から推定される 2018 年霧島新燃岳噴火の時のマグマの動き ※吉永光樹
松島 健・清水 洋・山下裕亮
小松信太郎・山崎健一</p> <p>P2-31 2018 年新燃岳噴火における溶岩流出後の火口内の変形 ※小澤 拓</p> <p>P2-32 2018 年の霧島山噴火活動に伴う火山性地震の振幅空間分布を用いた震源推定 ※五島大樹
松本 聡・光岡郁穂・湯浅雄平
河村優太・市原美恵</p> <p>P2-33 火山灰の顕微可視分光測定と火山灰システムティクスによる推移推定—新燃岳 2018 年噴火初期での検討— ※嶋野岳人・鈴木由希・前野 深
安田 敦・三輪学央・長井雅史</p> <p>P2-34 霧島硫黄山噴火後の熱水化学組成の経時変動(続) ※石橋純一郎・森 啓悟・松島 健
益田晴恵・大嶋将吾・堤 彩紀・田島靖久</p> <p>P2-35 えびの高原硫黄山の火孔熱水への深部流体の寄与について ※山本春香・木川田喜一</p> <p>P2-36 始良カルデラ入戸火砕流噴火におけるマグマ溜まり減圧過程 ※下司信夫・山崎 雅
宮城磯治・Chris Conway</p> | <p>P2-37 石基輝石の晶相に基づく桜島大正噴火のマグマ火道上昇履歴の制約 ※◎奥村翔太
奥村 聡・三宅 亮</p> <p>P2-38 桜島の爆発的な噴火に伴い発生する地震の震源決定 ※◎三浦健司・西村太志</p> <p>P2-39 2020 年に桜島・春田山で観測された噴火に伴う大気電場擾乱 ※中島悠貴・西村太志・青山 裕
井口正人・神田 径・大湊隆雄</p> <p>P2-40 鬼界葛原噴火マグマ溜りの温度・圧力条件：長瀬火砕流堆積物内軽石を用いた推定 ※斎藤元治・宮城磯治</p> <p>P2-41 地震波干渉法に基づく諏訪之瀬島における地震波速度および地震波散乱特性の時間変化の推定 ※廣瀬 郁・上田英樹・藤田英輔</p> <p>P2-42 Kermadec 諸島 Curtis 島近海の海底カルデラにおける Trapdoor 型断層破壊に伴う火山性地震と津波 ※三反畑修・綿田辰吾
佐竹健治・金森博雄・Luis Rivera</p> <p>P2-43 噴火中の溶岩流表面地形の特徴 ハワイとアイスランドの例 ※千葉達朗</p> |
|--|---|